

地震と火山の観測史

神沼 克伊(国立極地研究所・総合研究大学院大学名誉教授) 著

A5判・並製・168ページ 本体価格:3,000円

ISBN:978-4-621-30750-2 Cコード:1044 2022年10月刊行予定



地震や火山の情報をすぐに受け取れるのは、観測あってこそ

火山列島である日本は、地震や火山とは切っても切れない関係にあります。普段の生活の中で流れる震源などの地震速報や噴火の情報は、どのように観測・解析され、私たちに提供されているのでしょうか。本書では、観測から情報の発信までのプロセスや、今の観測体制に至るまでの歴史的背景を解説します。地震学や火山学を専門に学ぶ方はもちろん、観測のメカニズムに興味のある方にもオススメです！

内容紹介

- ▲地震記録の読み取りを人間が行っていた20世紀では、1つの地震の震源を決めるのに数十～数百人が必要だった。
- ▲現在でも、日本の活火山50座の観測に日夜200人が携わっている。
- ▲地球の寿命と人間の寿命のタイムスケールの違いにより、地震予知は不可能である。
…など

目次

第1章 地震のいろいろ	第2章 火山のいろいろ	第3章 地震観測の黎明期
第4章 地震学の発展期	第5章 新しい時代の始まり	第6章 地震予知
第7章 観測は研究の礎	第8章 地震学と火山学を支える観測	第9章 南極観測

注文書 丸善出版発行	条件:新刊委託	指定配本数	貴店番線印
地震と火山の観測史 神沼 克伊 著 ISBN:978-4-621-30750-2 A5判・並製・168ページ 本体価格:3,000円 2022年10月刊行予定 配本指定締切日 10月5日		冊	